

地域格差問題を是正するための国への提言活動について

趣 旨

近年の地方交付税の削減等により、本県のような地方部の財源は減少が続き、極めて危機的な財政状況に陥っています。

総務省の概算要求時に示された8月の仮試算においても都市部が中心となる地方税収の増加を見込む一方で、地方交付税等の総額を減としており、このままでは、地域間の財政格差がさらに拡大し、地方の財源不足がさらに深刻化することが予想されるようです。

こうした地方の実情に目を向けていただき、地域社会と住民生活を守るための地方の財源を確保するため、本県では、「**絵で見る** 地方の窮乏と財政格差問題の所在と待たなしの対策案～まず2008年度予算から～」により、平成20年度の国の予算編成及び地方財政対策において、以下の点についての早急な制度改正を強く求めることといたしました。

なお、本提言については、岩手県のホームページに掲載するとともに、今後あらゆる機会を通じて、関係各方面に訴えて参りたいと考えております。

「絵で見る」地方の窮乏と財政格差」のポイント

【地域格差問題を是正するための必要な対策】

- **地方交付税関係**・・・交付税のあるべき機能を正しく発揮すること。
 - ① 地方交付税総額の増額
 - ② 地方交付税の法定率の堅持（むしろ引き上げ）
 - ③ 頑張る地方応援プログラムによる普通交付税の別枠加算
 - ④ 臨時財政対策債（赤字地方債）の制度見直し
 - ⑤ 地方交付税の留保財源率の見直し
- **地方税関係（偏在是正）**・・・地方税中心の歳入構造づくり（更なる分権改革）のベースとして・・・。
 - ⑥ 地方消費税の清算基準の見直し
 - ⑦ 地方法人二税の分割基準の見直し
 - ⑧ 法人税を国へ、消費税を地方へ、という税源交換

※ 地方税の偏在是正は、その結果として、地方交付税総額が減少しない形で実施すること。（不交付団体水準超過経費を含めた地方財政計画の歳出総額を維持（むしろ充実）しながら実施すること。）

これは重要！この点が確保されないと、「都市部の地方税が減少し、国の財政が改善する」という結果になる。